

令和8年1月8日（木）第3学期始業式式辞

3学期がスタートしました。

皆さん、年末年始は、どのように過ごしましたか。新しい年になり、今日、皆さんの元気な姿を見ることができ、うれしく思います。

今日は、私が毎年この時期に楽しみにしていることをお話しします。それは、駅伝のテレビ観戦です。特に、大学対抗の箱根駅伝は有名ですよね。箱根駅伝は、1月2日に東京から箱根の 100 kmあまりを5人で走り、次の日の3日に別の5人で東京まで引き返すコースで、1人が約20キロを走ります。私の一番の注目区間は、スタートの1区でもなく、ゴールの10区でもなく、1日目最終区の5区です。なぜかというと、この5区は、標高約 900m ある箱根の山を麓から一気に駆け上がるという、最も孤独で過酷なコースだからです。今年優勝した青山学院大学の5区黒田朝日選手は、区間記録を約2分縮める異次元の走りをしました。険しい山道を黙々と走りながら前の選手を次々と抜く姿を見て「すごいな」と感じた人も多いと思います。

黒田選手すごかったね、で終わると話が面白くありませんので、私は、彼のすごさを体感するために、箱根駅伝の次の日に、標高 320m の富士山を麓から走って登ってみました。結果はどうだったか。正直言うと、かなりきつかったです。まず息が上がり、次に足が重くなり、10分もしないうちに足が止まってしまいました。そして、頂上までたどり着くのにかなり時間がかってしまいました。黒田選手は、富士山の約3倍の高さを1キロ3分少々のペースで駆け上がるのですから信じられません。本当に「シン・山の神」の名にふさわしい人物だと実感しました。

しかし、ここで大切なのは、彼がテレビの中の特別な人だからできた、と思わないことです。彼も最初か

ら強かった訳ではありません。毎日の練習の積み重ねと精神力が、見ている人に感動を与える走りにつながったのだと思います。まさに、「継続は力なり」です。

さて、皆さんにとって今日から始まる3学期は、今年度の総括と来年度の準備をする、大切な学期です。勉強でも、部活動でも、目標を達成するための苦しい

「山登り」あるかもしれません。一歩一歩足を前に出した人だけが頂上に立つことができます。それは、黒田選手も、皆さんも同じです。

1月のカレンダーを見ますと、学校に来るのは16日しかありません。3年生は、授業を受けるのはあと2週間です。毎回の授業を最後の授業と思って、大洲農業での生活を大切に過ごしてほしいと思います。

また、1、2年生の皆さん、これまでの自分をより成長させるために、目標を立て、それを実現するための計画を立て、実行してほしいと思います。

それから、これは皆さんに言えることですが、3学期は寒さとの戦いでもあります。体調に気を付けてください。

それでは、皆さんにとって充実した3学期になることを願って、式辞とします。